

会 議 録

会議名	令和7年度 第2回 田名地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 田名まちづくりセンター 電話：042-761-0056 (直通)		
開催日時	令和7年7月8日(火) 19時00分～20時25分		
開催場所	田名公民館 大会議室		
出席者	委員	14人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	2人(田名まちづくりセンター所長、地域政策担当)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和7年度第1回まちづくり会議・地域ケア会議地域づくり部会合同会議の結果報告について (2) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について (3) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・中央区観光振興プログラムにおける区内風景の記録写真に係る観測地点の選定について ・地域活性化事業交付金について 4 閉会 		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(◎は会長、○は委員、■は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ (代田会長)

3 議題

(1) 令和7年度第1回まちづくり会議・地域ケア会議地域づくり部会合同会議の結果報告について

合同会議の大谷(伊)座長より、資料1について説明・報告した。

(ア) 令和6年度に田名地区内の6自治会を対象に、当該地区担当の民生委員・児童委員の協力のもと高齢者の買い物支援に係るアンケート調査を行った。

(イ) 令和7年度は、アンケート結果を踏まえてどのような支援策が適切か検討を始め、それにあたっては他地区の取組みも参考にしたい。

(ウ) 水郷田名団地で実施されている移動販売に関する周知を近隣の滝・水郷田名に行きたい。

《主な意見・質疑等》

◎2年間に渡り議論・検討しているテーマであることから、今年度の地区まちづくりを考える懇談会の繋げたいと考えている。

(2) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

<田名地区社会福祉協議会>

- ・田名地区社会福祉協議会として様々な事業をおこなっているが、その内容も濃くなってきている。
- ・7月27日(日)に相模田名民家資料館において「第3回民家資料館で遊ぼう」が開催される。
- ・「たなワン安心パトロール」の登録が334頭になった。
これを機に「たなワン通信」を発行予定であり、麻布大学と連携してアンケートも同封し、飼い主あてに発送予定である。
- ・ベンチプロジェクトの一環として、「第42回田名ふるさとまつり」において、子ども達にペイントしてもらおうことを検討している。

<田名地区自治会連合会>

- ・7月20日（日）に田名八幡宮において「八坂祭」が開催され、単位自治会においても夏祭り・盆踊りが開催される。
- ・8月2日（土）に田名中学校において「第42回田名ふるさとまつり」が開催される。
- ・「相模原納涼花火大会」は、例年8月末に開催していたが、今年度は9月6日（土）に開催される。

<田名公民館>

- ・10月19日（土）に「田名体育祭」が開催される。
- ・11月15日（土）、16日（日）に「田名文化祭」が開催される。
- ・高齢者学級等については、8月以降に募集を開始する。
- ・6月にモルックの研修を実施した。今後、単位自治会等でも研修を希望する際は、スポーツ推進員を講師として派遣することから、ご検討いただきたい。

<田名地区民生委員児童委員協議会>

- ・8月2日（土）の「第42回田名ふるさとまつり」に模擬店出店予定である。
- ・市民生委員児童委員協議会のマスコットキャラクターとして「ミンジー」がいるが、的祭の衣装をモチーフとし、頭に桑の実を着けた田名地区独自の「田名ミンジー」を作成した。
- ・秋ごろから高齢者の戸別訪問を実施予定である。

<田名地区公共交通整備促進協議会>

- ・今年度の主な活動としては、小田急多摩線延伸促進啓発に係る詳細看板の増設と地区内の幹線道路及び生活道路の改善に向けて市と連携して取り組むこととした。

<田名地区防犯協会>

- ・7月3日（木）に下校中の田名小学校児童への付きまとい行為があったため、翌4日（金）及び7日（月）の下校時間に合わせて青パトによる巡回を実施したが、不審者は見当たらなかった。
近隣にお住まいの方は、子ども達の見守りにご協力いただきたい。

<田名地区青少年健全育成協議会>

- ・過去には球技大会等を実施していたが、コロナ禍以降、行事は行っていない。
- ・子ども達の行動等で目に余るものがあれば、情報をいただきたい。

<田名小学校PTA>

- ・11月29日（土）に「田名っ子フェスティバル」を開催する。
出展ブースを検討する中で、過去にまちづくり会議を通して「ふれあい動物園（移動動物園）」を出展したところ大変好評だったとのことから、今回も協力いただけないか。
- ・登校班のあり方について検討中であり、1学期中に全保護者を対象にアンケートを実施する。
その結果によっては、最終的には登校班の廃止も視野に入れて、2学期に個別登校を試験的に実施する可能性があるため、その場合には、地域の方々にも見守り活動等のご協力をお願いすることになると思う。
- ・市内ではすでに3カ所、登校班を廃止している小学校があり、近年では、昨年度に星が丘小学校が登校班を廃止し、今のところ特に問題はないとのことだが、個人的には防犯面の心配がある。

<田名地区老人クラブ連合会>

- ・毎月4事業を実施しており、理学療法士を招いた「体操」と「脳トレ」のほか、「ボッチャ活動」及び「遊び活動（ボッチャと麻雀）」を開催しており、どの活動も25～50名程の参加がある。
- ・小学校と「ボッチャ」や「昔遊び」を通じた交流を行っている。
- ・毎年、地区社会福祉協議会を通じて、相模田名高校の福祉委員会の生徒に向けて「ボッチャ」の講習を実施している。

<田名地域包括支援センター>

- ・6月27日（金）に福祉講座として、「認知症サポーター研修」を実施した。
- ・認知症サポーター研修以外にも介護サービスに関する講座等も実施可能なため、希望があればご連絡いただきたい。
- ・熱中症対策として、冷房を積極的に使用していただきたい。

《主な意見・質疑等》

- 「ふれあい動物園」に関しては、当時、地区健全育成協議会が中心となって、業者との調整や予算の確保等を行った。

現時点では、予算の確保等は行っていないが、要望があれば前向きに検討したい。

(木下委員)

◎まずは、田名小学校PTAにおいて「ふれあい動物園」の実施に係る意思決定及び予算の確保等の検討をお願いしたい。

○田名小学校の登校班のあり方について、どのような経緯で登校班の廃止に係る意見が出てきたのか伺いたい。(松上委員)

→登校班が無い地域から転入された今年度の校外委員からの意見である。

転入元の小学校では、個別登校で問題がなかったこともあり、現在の登校班のあり方に疑問を持っているとのことである。(小林委員)

○水郷田名と滝の児童の登校時の見守りをを行っているが、保護者が付き添いをしているのは1年生のみである。

また、その保護者も4月は付き添うが、5～6月になると出て来なくなる。

今は集団登校しているため交差点や危険個所で見守ることが出来ているが、個別登校になってしまうと、ずっと見守ることは難しい。

過去には一人で下校中の生徒がトウモロコシ畑に引きずり込まれた事件も発生しており、集団で登下校することで子ども達の安全に繋がっているともいえる。

もし本気で個別登校を検討するというのであれば、田名地区内の道路の安全性について、しっかりと調査する必要がある。(大谷委員)

○登校班のデメリットとしては、役員による名簿の作成や登下校の見守り等、保護者の負担が挙げられるが、メリットとして集団登校によって同級生との友達関係以外にも、下級生は上級生の行動を見て学ぶといったものや上級生が下級生の面倒を見たり、学校の規則を教えたりといった他学年との交流も生まれる。

これら小学校時代に培った人間関係は、中学校や高校、社会に出てからも役立ち、ひいては地域づくりに貢献していると考ええる。

また、田名は狭隘道路も多く、近年は物流倉庫の増加や圏央道の開通等により、大型車両も含めた交通量の増加もあり、安全面からも集団登校のメリットは大きいと考える。(木下理事)

○集団登校は相模原市教育委員からの指示ではないのか。(松上委員)

→各校の判断に任されている。(木下理事)

○この問題は長年議論されてきたが、その大前提として地域性があげられる。

田名地区のように広く、危険性が多い地域では集団で移動することが子ども達にとって、最も安全であると考ええる。

校外委員の負担が大きく大変であるということは理解しているが、だからといって集団登校を止めるといったことに結び付けるのは間違っていると考ええる。

実際に個別登校になった場合には、見守りは老人会をお願いしたいといった話に

なるかと思うが、老人会にも限界があるので、PTAの皆さんには、子ども達の安全を守るということを第一に考えて検討していただきたい。(小島委員)

○地域をあげて検討すべき問題と考える。

集団登校を廃止した経緯についても子ども間のトラブルやPTA会長の責任等、深刻なものがあつたと聞いている。(木下委員)

○アンケートの設問はフラットなものであり、登校班の廃止ありきではなく、そのあり方について保護者が改めて考える良い機会と考えている。(小林委員)

○以前は各地区に子ども会があつたので、その中で学年の委員を決めたりしていた。今は子ども会が解散してしまった地区もあり、一部の保護者に負担が集中してしまっている。(大谷副会長)

○登校班の廃止は、田名小学校の全エリアについてであるのか。

地区によって、比較的安全な地区とそうではない地区とがあるのではないか。

(山本委員)

→アンケートには、お住まいの地区についても選択肢として入れているので、実際の検討にあたっての材料となり得る。(小林委員)

(3) その他

- ・中央区観光振興プログラムにおける区内風景の記録写真に係る観測地点の選定について

→事務局より、**資料2**について説明した。

《主な意見・質疑等》

○水郷田名、水郷田名団地及び高田橋が映っている(案2)が良い。(松上委員)

○(案2)の撮影に関して、手前の歩道も画角に含めた方が良い。(小島委員)

○県道54号は田名地区のメイン通りであり、(案5)の辺りは田名地区への入口ともいえる。(松上委員)

《結果》

田名地区まちづくり会議として、観測地点(案2)及び(案5)を選定する。
ただし、観測地点(案2)に関しては、手前側の歩道を入れた形で再撮影する。

- ・地域活性化事業交付金について

→事務局より、「地域活性化事業交付金チラシ」及び「令和6年度実施中央区地域活性化事業交付金事業まとめ誌」について説明した。

《主な意見・質疑等》

特になし。

- ・次回会議は、令和7年9月17日（水）19時からとする。

7 閉会（小川副会長）

以 上

令和7年度 第2回田名地区まちづくり会議 委員名簿 (敬称略)

令和7年7月8日

	団体名	団体役職	氏名	備考	出欠
1	田名地区自治会連合会	会長	代田 修	会長	○
2		副会長	大谷 伊和夫	副会長	○
3		副会長	秋元 義男	理事	○
4	田名公民館	館長	木下 英雄	理事	○
5	田名地区社会福祉協議会	会長	小川 剛司	副会長	○
6		福祉ねっとわーく推進部会長	山本 倫也		○
7	田名地区民生委員児童委員協議会	会長	田所 直久	理事	○
8		民生委員児童委員	神澤 優子		○
9	田名財産管理委員会	会長	田所 昌訓		
10	田名地区公共交通整備促進協議会	事務局長	松上 秀一		○
11	田名地区防犯協会	会長	大谷 靖臣		○
12	田名地区青少年健全育成協議会	会長	木下 國博		○
13	田名小学校PTA	会長	小林 正憲		○
14	田名地区老人クラブ連合会	会長	小島 昭二		○
15	J A相模原市田名支店運営委員会	市農協理事	永田 恵一		
16	田名地区ボランティアグループ	代表 (市食生活改善推進団体 わかかな会田名地区)	浅見 泰子		
17	田名地域包括支援センター	センター長	矢口 君代		○
18	有識者				

出席 (○)

14

欠席 (欠員を含む) ()

3

合計

17